



今回の薬剤散布は、梅雨明け直後に主要害虫の発生密度を下げ、8月以降の大発生を防ぐことを目的としています。よって、ハダニ類等の発生が目立つ場合は、薬剤散布を予定より早める等の対策を講じてください。併せて、薬剤の効果を高めるため、散布前に徒長枝切り等を行い、園全体に薬液が到達するようにしてください。

7月下旬の薬剤散布（前回より20日後）

散布時期	7 月 25 日～30 日 * 注意事項①参照		◆ 散布日：	月	日
散布薬剤	水	1 0 0 0 当り	◆ 散布量：		リットル
	展着剤	1 0 mℓ			
	キノンドーフロアブル	1 0 0 mℓ (3 日前、9 回)	* 注意事項②、③参照		
	ダニサラバフロアブル	1 0 0 mℓ (前日、2 回)	* 注意事項④参照		
	オリオン水和剤 4 0	1 0 0 g (3 日前、2 回)	* 注意事項⑤参照 (劇物)		
対象病害虫	輪紋病、ハダニ類、シンクイムシ類、ハマキムシ類、カイガラムシ類				
散布量	10 アール当り：600 ℓ以上 * 注意事項⑤、⑥参照				
注意事項	① ハダニ類等の発生が目立つ場合は、上記散布時期より前倒して実施する。 ② キノンドーフロアブルに代えてオキシラン水和剤 500 倍（3 日前、9 回）でも良い。<u>有機銅成分を含む薬剤（オキシラン水和剤やキノンドーフロアブル等）の使用回数は合計で 9 回以内であるので注意すること。</u> ③ キノンドーフロアブルを使用する際は、容器の口を下に向けて横に回しながら上下に振り、容器内でよく溶かしてから SS 等のタンクへ投入すること。 ④ <u>ハダニ類の発生が心配されるため、ダニサラバフロアブルの使用倍率を 1000 倍に引き上げました。</u> ⑤ オリオン水和剤 40 は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。 ⑥ 葉やけ防止のため、高温時の散布はしない。また、降雨が心配される場合は散布を見合わせる。また、葉やけの起きやすい条件は、①薬剤散布直後の雨、②急激な高温、乾燥とその後の多雨等です。 ⑦ 薬液が樹の隅々まで到達するように、散布量は多めに設定する。また、過繁茂状態の場合は、薬剤散布前に徒長枝処理を行う。				

(参考) 8月中旬の 薬剤散布予定: 8/15~20頃 (前回より 20 日後)

ナシ類の7月下旬の重点管理作業

- ① 西洋梨の腐らん病対策（梅雨期間に感染が広がっています。早めの抑制処理の実施をしてください）
見つけしだい削り取り処理や切除し、傷口にトップジンMペーストを塗布する。
- ② 主枝・側枝誘引（次年度対策）
次年度の花芽着生促進と側枝を太らせないために積極的に実施する。主枝候補を誘引する場合は、南水・オーロラ等は45度、ラ・フランスは30度を目安に誘引する。
- ③ 土壌水分管理（5日以上降雨がない場合はかん水の実施を！）
極端な土壌乾燥は果実肥大に大きく影響します。盛夏期は降雨が少ないことが予想されるので、定期的にかん水を行う。また、土壌乾燥防止のため、樹冠下に敷きワラ等のマルチ等を行う。（土壌水分を逃がさない対策）
- ④ 雑草管理（早めに処理しましょう！）
バスタ液剤を使用する。（水100ℓに対し、バスタ液剤500ml）

◆ 和梨の定期散布情報は裏面をご覧ください。

◆ 和梨の定期防除（収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

- ハダニ類・シンクイムシ類等の発生が心配される場合は、前回からの散布間隔を 10～12 日程度に短縮して実施してください。

【有袋】 7 月下旬の薬剤散布（前回より 15 日後）

散布時期	7 月 25 日～30 日 ＊注意事項参照①	◆ 散布日：月 日
散布薬剤	水 1 0 0 リットル 展着剤 2 0 ml ダニサラバフロアブル 1 0 0 ml （前日、2 回） ＊注意事項参照② キノドーフロアブル 1 0 0 ml （3 日前、9 回） ダーズバン DF 3 3 g （21 日前、3 回） ＊注意事項参照③（劇物）	◆ 散布量：リットル
対象病害虫	黒斑病、輪紋病 ハダニ類、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ	
散 布 量	10 アール当たり：450 リットル以上 ＊注意事項④参照	
注意事項	① ハダニ類の発生が目立つ場合は、今回の散布を前倒しで行うこと。 ② ハダニ類の発生が心配されるため、ダニサラバフロアブルの使用倍率を 1000 倍に引き上げました。 また、殺ダニ剤の効果を上げるため、今回の薬剤散布の 3～4 日前に下草除草を実施する。 ③ ハダニ類成虫の発生が目立つ場合は、ダニサラバフロアブルに代えて、即効性の高いスターマイトフロアブル 2000 倍（前日、1 回）を使用する。 ④ ダーズバン DF は劇物登録薬剤です、購入の際は印鑑をお持ちください。 ⑤ 薬液が樹の隅々まで到達するように、散布量は多めに設定する。また、過繁茂状態の場合は、薬剤散布前に徒長枝処理を行う。	

（参考）有袋 8 月上旬の 薬剤散布予定：8／10～15 頃（前回より 15 日後）

【無袋】 7 月中下旬の薬剤散布（前回より 15 日後）

散布時期	7 月 25 日～30 日 ＊注意事項①参照	◆ 散布日：月 日
散布薬剤	水 1 0 0 リットル 展着剤 2 0 ml ダニサラバフロアブル 1 0 0 ml （前日、2 回） ＊注意事項②参照 ダーズバン DF 3 3 g （21 日前、3 回） ＊注意事項③参照（劇物） ロブドー水和剤 1 2 5 g （14 日前、5 回） ＊注意事項④参照	◆ 散布量：リットル
対象病害虫	黒斑病 シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ、ハダニ類	
散 布 量	10 アール当たり：450 リットル以上 ＊注意事項⑤参照	
注意事項	① ハダニ類の発生が目立つ場合は、今回の散布を前倒しで行うこと。 ② ハダニ類の発生が心配されるため、ダニサラバフロアブルの使用倍率を 1000 倍に引き上げました。 また、殺ダニ剤の効果を上げるため、今回の薬剤散布の 3～4 日前に下草除草を実施する。 ③ ハダニ類成虫の発生が目立つ場合は、ダニサラバフロアブルに代えて、即効性の高いスターマイトフロアブル 2000 倍（前日、1 回）を使用する。 ④ ダーズバン DF は劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。 ⑤ ロブドー水和剤に代えて、キノドーフロアブル 1000 倍でも良い。 ⑥ 薬液が樹の隅々まで到達するように、散布量は多めに設定する。また、過繁茂状態の場合は、薬剤散布前に徒長枝処理を行う。	

（参考）無袋 8 月上旬の 薬剤散布予定：8／10～15 頃（前回より 15 日後）